

東京外語会主催 文化講演会

## 中国・韓国・北朝鮮で起こっている本当のこと

講師：井尻秀憲 東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授

日時：3月7日（土）午後2時—4時（続いて懇親会）

場所：東京外国語大学本郷サテライト4階



### 講師紹介

1975年 東京外国語大学中国語科卒業、80年同大学修士課程（地域研究）修了後、神戸外国語大学、筑波大学、在中国日本大使館等で活躍。1999年東京外国語大学外国部学部教授、2009年現職へ。カリフォルニア大学バークレー校より政治学博士号取得。主な著作に『中国・韓国・北朝鮮でこれから起こる本当のこと』（育鵬社、2014年）、『迫りくる米中衝突の真実』（PHP研究所、2012年）、『激流に立つ台湾政治外交史』（ミネルヴァ書房、2013年）、『李登輝の実践哲学』（ミネルヴァ書房、2008年）、『アメリカ人の中国観』（文藝春秋・文春新書、2000年）、『中台危機の構造』（劉草書房、1997年）、『現代アメリカ知識人と中国』（ミネルヴァ書房、1992年）、『台湾経験と冷戦後のアジア』（劉草書房、1991年）など。

### <講師からのメッセージ>

2014年11月、異例中の異例と思われる事件が起きました。なんとAPEC（アジア太平洋経済協力会議）の非公式日中首脳会談を前に、「日中双方の合意文書」が発表されたのです。これまでの日中関係の在り方を振り返れば、当然のこのように見えますが、「静かで独自の外交」を展開してきた「日本外交」とAPECのホスト国として面子を立てながら、日中首脳会談について国内向けに理由を説明したい中国側との奇妙な一致点が見られたものと、私は解釈しています。

したがって、この講演では、米中関係における両国の「新戦略」をベースとしながら、中国・韓国・北朝鮮で起こっている「本当のこと」を話していきたいと思います。

ただ、その中には、中越船衝突の真相、香港・学生運動の真相なども含まれますし、私の最新刊出版以降の事柄で重要と思われることも、話していきたいと考えています。